

加入者の声を聞きました

収入保険は、自然災害による収量減少に加え、市場価格の低下なども含めた農業収入の減少を総合的に補てんする制度です。今回は、加入者の石原竜彦さんの声を紹介します。

長浜市湖北町

石原 竜彦さん(56歳)

〔経営規模〕 水稲13・4畝、麦6・8畝、大豆5・2畝、そば83アール



Q 経営内容を教えてください

20年前に勤めていた会社を退職し、父の跡を継いで就農しました。妻と二人三脚で、水稲、麦、大豆、そばを栽培しています。会社勤めの息子も、休日にはたまに手伝ってくれます。

前職の経験もあり機械関係は得意なので、育苗用ハウスの自動かん水装置や耕地図を自分で作っています。今は、作業日報等をタブレットで管理するために勉強中です。

5年前から集落内の有志で、「コシヒカリ7俵分を近隣の酒造メーカーに依頼して、酒を造っています。一般販売はせず、集落内のみ販売で毎年完売しています。

そばは、「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」の一環として10年前から栽培し始めました。毎年12月に行う収穫祭で、このそば粉を使つたそばの実食会をし、子供たちのそば作り体験もしています。

Q 収入が落ち込んだことは？

近年の異常気象の関係で、ここ数年は大豆が思うように栽培できていません。今のところ大きな被害はありませんが、いつ何が起るかわからないので不安です。

Q 今後の営農で不安なことは？

後継者問題です。農業の未来が明るければ継いでほしいと思いますが、近年の異常気象を見ていると農業も

厳しいですね。

Q 収入保険の魅力、選んだ理由は？

収入保険開始前のシミュレーションに協力していました。収入を対象に補償してもらえ点が魅力です。加入初年は保険料と積立金があるので高く感じましたが、積立部分を使わなければ翌年に繰り越されるので、そんなに高くありません。また、品目ごとに手続きする必要がないのも良かったです。

万が一の備えとして収入保険に加入していることで安心感があります。



収入保険加入者の皆さんへ

農作業日誌、販売帳簿の記帳・保存をお願いします。

左記に該当する場合は、最寄りの支所・出張所にご連絡ください。

- 自然災害、加入者の病気やけが等により1割以上の数量減少等が見込まれる場合
- ※連絡がない場合は、保険金等が支払われない場合があります。

- 「保険期間の営農計画」に変更がある場合
- ※作付けする農産物の品目、栽培面積などの変更がある場合。

- 加入者情報に変更がある場合
- ※住所、電話番号、振替口座などの変更および代表者の交代、経営移譲、加入者の死亡、過去の青色申告決算書の内容に変更が生じた場合など。